

[ワーク]

「主体的・対話的で深い学び」を基に日頃の保育を振り返ろう

目的：講義を聴いた感想を述べ合いながら、日頃の保育を振り返る。
子どもたちの遊びについて、日頃意識していること、
難しいと感じたこと、改善したいと思うことを率直に話し合う。

準備：5～6人のグループになる。

進行役を1名決める。

2cm幅の付箋、1人10枚程度を用意する。

各グループにつき、A3用紙1枚（A4用紙2枚でも可）を用意する。

memo

ワーク時間	
グループの場合	15分
個人の場合	6分

進め方

- ①各自、講義を聴いた感想を付箋に書く。(1枚に1つ)
- ②1人1枚ずつ、A3用紙に付箋を貼り出しながら発表する。
他の発表者と似ているものは、近くに貼る。
- ③進行役のリードで、出された付箋を分類しながらまとめる。
分類は、例えば「意識していること」「改善したいこと」など。
- ④すべてが出そろったら、出されたものについて話し合う。

ポイント：一人ひとりの考えを尊重しましょう。

進行役は、全員の参加者が話せるように配慮しましょう。

- * 個人で行う場合は、感想を書き出し、俯瞰してみる。
意識していることや改善したいことなど整理する。

memo

[ワーク]

事例から「環境を通して行う保育」について考えよう

目的：保育者が子どもの姿に「どのように関わるか」を考えることを通して、「環境を通して行う保育」について理解を深める。

準備：グループになり、進行役を1人決める。
2cm幅の付箋、1人10枚程度を用意する。
各グループにつき、A4用紙1枚を用意する。

memo

事例：子どもたちが、色水遊びに興味を持ち始めた。

ワーク時間
グループの場合 12分
個人の場合 10分

進め方

- ①対象となる年齢を決める。(グループの場合、グループ内で統一)
- ②事例のような場面で、③「どのような子どもの姿が見られるか」について、先ほどの色水の事例を参考に想像して、各自付箋に書いてみる。
- ③③の姿をA4用紙に貼り出し、意見を共有し、その中で話しやすい姿を選ぶ。
- ④③で選んだ子どもの姿を基に、
 - ⑤「その姿に対してどのようなことを意図するか(ねらい)」について、話し合う。
- ⑤⑤の意図をふまえ、⑥「どのようにかわるか」、「環境をどのように工夫するか」について、話し合う。

ポイント：一人ひとりの考えを尊重し合う。

進行役は、全員の参加者が話せるように配慮する。

合っているかどうかにとらわれず、想像力を膨らませて、自由に話し合う。

*個人で行う場合、A4用紙に貼り出したものに対してそれぞれ考え、書き出してみる。

memo

[ワーク] 3歳以上児の日常の姿を 5つの領域でのぞいてみよう

目的：様々な人の意見を聞きながら、子どもたちの姿を改めて
5つの領域でのぞいてみる。

準備：グループになり、進行役を1人決める。

2cm幅の付箋、1人10枚程度を用意する。

各グループにつき、A3用紙に印刷したワークシートを1枚配布する。

(A3用紙に印刷できない場合は、大きい紙に書くなど、工夫する。)

個人で行う場合は、A4用紙サイズのワークシートを用意する。

memo

進め方

ワーク時間	
グループの場合	15分
個人の場合	6分

①〇〇を真似して作ろうとしている

〇〇と考えが食い違い困惑している

〇〇しようとして〇〇を用意する等

具体的な子どもの姿を思い出して、付箋に書き出してみる。(3分)

②書き出したものを、1人1枚ずつ発表しながら、5領域のどこに当てはまるのかを考えて、ワークシートに貼り出してみる。

いくつかの領域にまたがる場合には、付箋に書き足して貼り出す。(7分)

③すべてが出そろったら、感想を語り合う。(5分)

ポイント：どんな意見もポジティブに受け止め、応答的に語り合いを進める。

書き出すことを楽しみ、子どもの姿をたくさん思い出す。

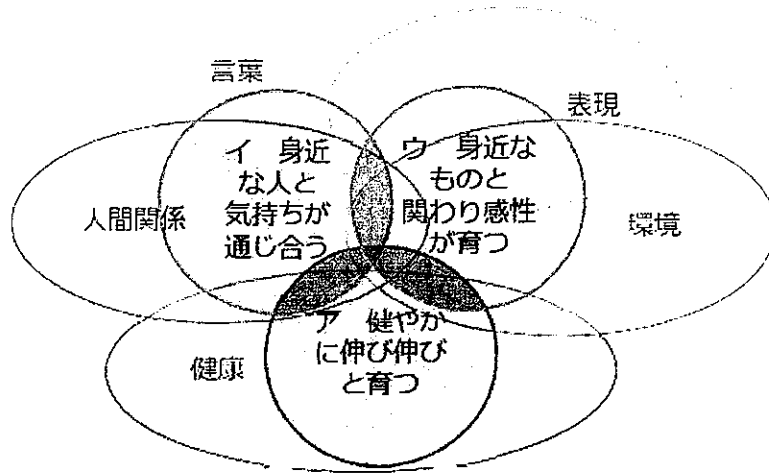
分類する際には、「正解」にとらわれず、それぞれの捉え方や考えを

活かして、視野を広げていくようにする。

*個人で行う場合、付箋をワークシートに貼り出し、感想をまとめる。

memo

3視点・5領域
ワークシート



memo

[ワーク] 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」 について、学んだことを語り合きましょう

目的：学んだことを話し合い、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」
について理解を深める。

準備：グループになり、進行役を1人決める。
2cm幅の付箋、1人10枚程度を用意する。
各グループにつき、A3用紙を1枚配布する。
(A3用紙がない場合は、A4用紙2枚でも可。)
*個人で行う場合は、付箋とA4用紙を用意する。

memo

ワーク時間
グループの場合 10分
個人の場合 5分

進め方

- ①各自、講義を聴いた感想を付箋に書く。(1枚に1つ)
- ②1人1枚ずつ、A3用紙に付箋を貼りだしながら発表する。
他の発表者と似ているものは、近くに貼る。
- ③進行役のリードで、出された付箋を分類しながら、
みんなで分類ごとにタイトルを付けるなどしてまとめる。
- ④すべてが出そろったら、「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿」
について、みんなで語り合う。

ポイント：どんな意見もポジティブに受け止め、応答的に話し合いを進める。
進行役は、全員の参加者が話せるように配慮する。

*個人で行う場合は、書き出したものを俯瞰して見て、感想をまとめる。

memo

[ワーク]

「あなたが担任保育者だとしたら…」

準備：A4用紙1枚 ペン
進め方

ワーク時間
グループの場合 10分
個人の場合 5分



① 次の状況を想像してA4用紙に記述してください。

「もし、あなたが担任保育者だとしたら、Kくんに対してどんなアプローチをするでしょうか？声をかけるとしたら、どんなふうに声をかけるでしょうか？」

② その理由も記述しましょう。

③ 記述したものをもとに、互いの幼児イメージについて確認しましょう。

*個人で行う場合、③では自身の幼児イメージについて気づいたことを書き出しましょう。

memo

[ワーク]

ワーク時間
グループの場合 17分
個人の場合 10分

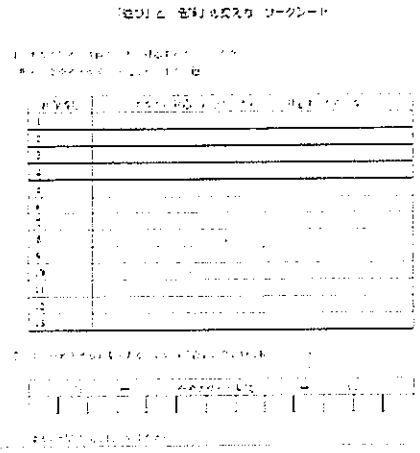
準備

ワークシート (またはA4用紙)

進め方

- ①13の画像を見て対応の仕方を考える
- ②やめさせる必要がある度合いが高い順に並べる
- ③その理由を文字化する
- ④記入したシートをもとに話し合う

* 個人で行う場合、①②③を行う。



memo

13の画像

- 1) クライミングウォールをのぼっている (年少)
- 2) 上り棒をのぼっている (年中)
- 3) 壁を登っている (年長)
- 4) ウレタン積み木の上で跳ねている (年少)
- 5) 電車内の網棚の上にのぼっている (年長)
- 6) コルク積み木の上に乗っている (年少)
- 7) ウレタン積み木に登っている (年中)
- 8) 鉄棒 変なつかみ方をしている (年長)
- 9) 鉄棒に登っている (年少)
- 10) 水たまりに入ろうとしている (年少)
- 11) 鉄棒の上でまったり (年長)
- 12) 靴下をはいた状態で走っている (年中)
- 13) 柵の上に登る (年長)

©2013 molunee.jp

memo

「遊び」と「危険」の捉え方 ワークシート

(1) あなたはその場面で、どう対応するでしょうか？

- ①叱る ②やめさせる ③見守る ④その他

画像番号	あなたの対応 (自分だったら、こう対応するだろうな)
1	
2	
3	
4	
5 (5-2 合)	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	

(2) ①「やめさせる必要がある」という度合いが高い順に並べてください。

高い	←	やめさせる必要度	→	低い

②その理由を文字化してください。

[ワーク] 「つい、顔みたいに見えちゃった」という モノを探そう。

ワーク時間
グループの場合 20分
個人の場合 10分

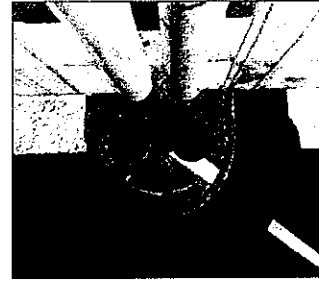
準備 ・デジタルカメラ ・大型テレビなど

進め方

- ①園内・園庭などエリアを限定し、「顔に見えるモノ」を探しましょう。写真に撮ってきます。
(全体の人数が多ければグループごとでも)
- ②それぞれの発見(どこで発見したか、その顔がどんな顔に見えるか、など)を発表します。
- ③どれが一番気に入ったか、全体で投票してもおもしろいです。

*個人で行う場合、撮ってきた写真を見て感想を書きましょう。

かわいい笑顔



memo

子どもの遊ぶ姿から、探ってみましょう

- このままごと遊びセットの良し悪しを教えてくれるのは、2歳児Mくんが遊ぶ姿です。

Copyright © 2011

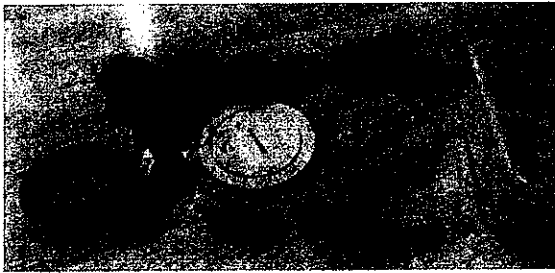
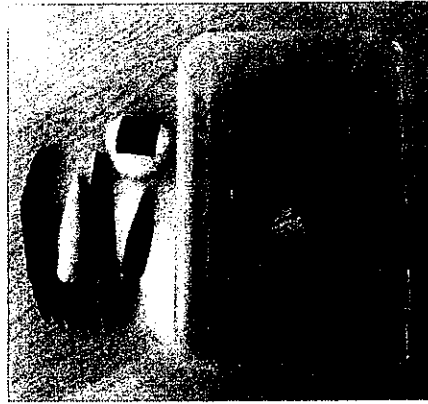
memo

棚の中は、こんな配置



©2013 mifl ux design inc.

memo



2015 m... ..

memo

問1. Mくんは、なぜ『たい焼き』を切りたくなかったのだろうか？

memo

問2. Mくんは、なぜパブリカを「洗う」しぐさをしたのだろう？

memo

問3. なぜ「立てひざ」姿勢で作業をするのだろう？

memo

問4. Mくんの言葉を考えてみましょう

- Mくんは、一連の流れの中で、今やりたいことがあるようです。
- Mくんのやりたいことを、Mくんの身になって迎ってみましょう。
- 「それをやるには〇〇が必要」「〇〇を探してみたけど、ない！」。
そう、「〇〇」が必要なのにないのです。
- Mくんは「〇〇がない！」と言ったのです。

memo

[ワーク] 「エピソード2の、この先の保育の展開」 について語り合おう

ワーク時間	
グループの場合	15分
個人の場合	10分

進め方

- ①エピソード2では、ふしあなを見つけたことから、その穴の中の世界についての想像が膨らんでいきました。この後の保育の展開（この続きでもよし、クラス活動につなげてよし、想像力を広げてください）を考えるとしたら、どんなことが考えられるでしょうか？

※3～4人のグループで話し合ってみましょう。

- ②人数が多い場合は、全体でアイディアの共有をしましょう。

*個人で行う場合、①についてどんなことが考えられるか書き出してみましょう。

memo

[ワーク] 「子どもは〇〇〇」 〇〇に何をいれますか？

準備

A3用紙1枚 付箋1人5枚程度

ワーク時間	
グループの場合	15分
個人の場合	10分

進め方

- ①「〇〇〇」の部分を考えて付箋に書いてみよう。
- ②A3用紙に「子どもは」と書き、互いに紹介し貼り出してみよう。
- ③貼ったものから、見えてくることについて考え合おう。

*個人で行う場合、付箋に書き出したものをカテゴリーに分け、そこから見えてくるものについてまとめよう。

memo

[ワーク]

子どもたちができること、知っていることを発揮して遊びを作り出せるようにするためのポイントを考えよう！

準備

2cm幅の付箋、1人3枚程度 A4用紙2枚

ワーク時間 15分

進め方

- ①園の行事（お祭りごっこ、運動会、発表会など）を1つ決めて、その内容について、「子どもたちが力を発揮して進める」ようになるために、工夫する点を1人3つ考えて付箋に書こう。
- ②書いたことをA4用紙に紹介し合おう。
- ③付箋に書かれたことをもとに、実際にできそうなことを考え合おう。

*個人で行う場合、①で付箋に書き出したものについて、

- ③実際にできそうなことを選び、具体的に計画を立ててみよう。

memo

[ワーク]
「各年齢の特色」から見えてくる環境の在り方を
まとめよう。

ワーク時間 10分

準備

2cm幅の付箋、1人10枚程度 グループ毎にA4用紙2枚

進め方

- ① 「3歳児って」「4歳児って」「5歳児って」のページの記載内容から
各年齢に応じた環境の在り方を考えましょう。
- ② 付箋に書き、それをA4用紙に貼り出しましょう。
- ③ 各園にある物や環境、或いは、無いけれどあるとよいと思う物、
環境について付箋に書き、もう一枚のA4用紙に貼り出していきましょう！

memo

[ワーク] 「子どもが始めたことを大切にする」 ことについて 語り合おう

準備

2cm幅の付箋、1人5枚程度 A4用紙1枚

ワーク時間 10分

進め方

- ① 子どもがかごに入った沢山のボールを外に投げ出しています。
いくら言ってもやめません。「子どもが始めたことを大切にする」
という考えに立つとしたら、あなたは何をしますか？
プランを5つ、付箋に書きましょう。
 - ② プランを紹介しながらA4用紙に貼っていきます。
似たプランを集めてみます。全体でどのくらいプランが出ましたか？
 - ③ 「子どもが始めたことを大切にする」 ことについて、話し合ってみましょう。
- * 個人で行う場合、①で書き出した付箋を基に、
③「子どもが始めたことを大切にする」 ことについて考え、まとめてみましょう。

memo

[ワーク] 子どもの「やりたい！」の芽を見つけて、 その先を考えて語り合おう

準備

ワーク時間 10分

2cm幅の付箋、1人10枚程度 グループにつきA4用紙1枚

進め方

- ①今日の保育を思い返してみよう。子どもたちの「やりたい！」の芽（まだ芽のままのもの）を見つけよう。それは何？各自付箋に書いてみよう。
 - ②付箋に書いたことを、A4用紙に貼り出しながら、順番に紹介しよう。
 - ③「やりたい！」の中で、実現の難しそうなものを見つけ、それについて「こんな風になるといいな」「こうすればどうかな」と実現のためのアイデアを出し合おう。
- *個人で行う場合、③では、実現のためのアイデアを書き出し計画してみよう。

memo

[ワーク] 「全体的な計画」について考えよう

ワーク時間	
グループの場合	10分
個人の場合	8分

目的：全体的な計画への理解を深め、家庭や地域との連携方法を考えましょう

準備：自園の「全体的な計画」

進め方：

- ① 自園の全体的な計画をどのようにして作成しているか、各自書き出しましょう
- ② 自園の全体的な計画の特徴（創意工夫している点）について各自書き出しましょう
- ③ 全体的な計画や指導計画をどのようにして、家庭や地域と共有しているのか、その具体的な方法について各自書き出しましょう
- ④ ①～③について、共有し、話し合しましょう

*個人で行う場合、①～③について書き出し、気づいたことをまとめましょう。

memo

[ワーク] 小学校との違いについて考えよう

ワーク時間	
グループの場合	10分
個人の場合	8分

目的：保育の独自性を理解し、説明できるようになる

進め方：

① 以下の語をつかって、乳幼児教育と小学校教育の違いを書いてみましょう（5分）

- ・教科書 ・チャイム ・一日の流れ、 ・クラスや園校庭環境、
- ・先生と子どもの関係性、 ・評価（成績表）

② ①について、共有し、話し合きましょう（5分）

*個人で行う場合、①のみじっくり考え書き出しましょう（8分）

memo

[ワーク] クラス環境を振り返ろう

ワーク時間 10分

目的：クラスの環境を振り返り、子どもの姿に基づく環境構成を考えましょう

準備：クラス環境を撮影した写真、数枚（写真がない場合は思い浮かべる）

進め方：

- ① 写真を見ながら、思い浮かぶ子どもの姿を書き出してみよう
（「〇〇ちゃんが遊んでいた姿」、「〇〇君が持参したもの」、
「〇〇ちゃんに関心を持っているもの」、「〇〇君が調べていた図鑑」等）
- ② 書き出した内容を共有し、以下について話し合ってみよう
 - ・環境と子どもの発達過程との関係性
 - ・環境を通じて子どもに気づいてほしいこと、育ってほしい姿など

*個人で行う場合、②では、書き出した内容を基に考えてみましょう

memo

[ワーク] PDCAサイクル

ワーク時間 10分

目的：PDCAサイクルを具体的に考えましょう

準備：園内研修の年次計画、等

進め方：

- ① 自園のPDCAサイクルの実際の展開状況について書き出してみましょう
園内研修の年次計画等を参考にしましょう
記録の頻度は？ 量は？ かける時間は？ 共有する相手は？
確認する人は？ 個々の自己評価と、園内研修の関係は？
- ② 書き出した内容を共有してみましょう

*個人で行う場合、②では、書き出した内容を見て考えたことをまとめましょう

memo

[ワーク]
10の姿を活用して、遊びの中の
育ちや学びを可視化し伝えてみよう ワーク時間 13分

目的：10の姿を活用して、保育の可視化と発信する力をのばしましょう

準備：伝えたい子どもの育ちや学びがみられる遊び場面の写真、
指針や要領、解説書

進め方：

- ① 写真について、説明しましょう
- ② 子どもの育ちや学びの姿について話してみましょう
- ③ 発達の視点、5領域との関係、10の姿、保育者の援助や
環境構成の工夫なども考えてみましょう

*個人で行う場合、それぞれを考え、書いてまとめてみましょう

memo

[ワーク1]

自園の連携・接続をステップを考えてみよう。

準備

ワーク時間 3分

ワークシート（またはA4用紙 1人1枚）

進め方

- ①自園の連携・接続がどのステップなのか、考えてみよう。
- ②その理由を考えてみよう。

memo

[ワーク2]

自園の連携・接続について話し合ってみよう。

準備

ワーク1で用いたワークシート（またはA4用紙）

ワーク時間 10分

進め方

- ① 3～4人のグループを作る。
- ② ワーク1の結果を「全国の幼小連携・接続の取り組み状況」と比べてみよう。
- ③ グループでそれぞれの結果を見せ合って、気付いたことを話し合おう。

* 個人で行う場合、②で比べてみて気づいたことをまとめてみよう。

memo

[ワーク1]

保育者と教師の意識の違いについて考えてみよう。

準備

グループ毎A4用紙 1枚

2 cm幅の付箋 1人 5, 6枚程度

ワーク時間 8分

進め方

- ①保育を知らない人に「子ども理解」を説明するキーワードを考えて、付箋紙に書こう。
- ②3, 4人のグループを作る。
- ③それぞれの書いたキーワードを発表し、A4用紙に貼り共有しよう。

*個人で行う場合、①で付箋に書いたキーワードについて考えたことをまとめよう。

memo

[ワーク2]
幼児教育と小学校教育の同じところ・違う
ところを話し合ってみよう。

準備

A4用紙 1人1枚

ワーク時間	
グループの場合	10分
個人の場合	5分

進め方

- ①幼児教育と小学校教育の同じところ・違うところを考えて書いてみよう。
- ②みんなで話し合ってみよう。

*個人で行う場合、①のみ行う。

memo

[ワーク] 交流の事例を読んで話し合ってみよう

準備

2cm幅の付箋、1人10枚程度

グループ毎A4用紙2枚（一枚にA、もう一枚にBと記載）

ワーク時間	
グループの場合	15分
個人の場合	10分

進め方

- ① 3～4人のグループを作る。
 - ② 事例を読んで感じたこと、思ったことを話してみよう。
 - ③ 交流を通して A. 幼児はどのようなことを経験したか、
また B. 児童にとってはどのような経験になったかを
付箋に書いて、A4用紙（A、B）に貼り、話し合っ共有しよう。
- * 個人で行う場合、②では、感じたこと思ったことを書いてみよう。
③では、どのような経験になったかを書き出してみよう。

memo

[ワーク] 卒園までに経験したいことについて語り合おう

準備

A4用紙 1人1枚

ワーク時間	
グループの場合	10分
個人の場合	3分

進め方

- ① 3～4人のグループを作る。
- ② 卒園までに幼児に経験してほしいことを3つ書こう。
- ③ 書いたことを、グループ内で発表し共有しよう。

*個人で行う場合、②を書き出してみよう。

memo

[ワーク] 家庭との連携

ワーク時間 10分

準備

2cm幅の付箋、1人10枚程度

グループ毎 A3用紙1枚

進め方

- ① 3～4人のグループを作ろう。
- ② 家庭との連携するために行っていることや、
やってみたいことを考えて、付箋に書こう。
- ③ 書いたことを、A3用紙に貼り出しグループ内で発表し共有しよう。

* 個人で行う場合、付箋に書き出したものを基に、気づいたことをまとめる。

memo

[ワーク1] 読み取ってみましょう

ワーク時間	
グループの場合	7分
個人の場合	3分



目的：子どもが感じ・考え・したいと
思っていることを読み取ってみる。

準備：グループになり進行役を1人決める。
2cm幅の付箋、1人10枚程度を用意する。

進め方

- ①子どもは、何を感じ・考え・したいと
思っているか考えてみる。
考えを1つにつき1枚の付箋に書き出す。(3分)
- ②どんなことを読み取ったのか、1人1枚ずつ
付箋を出して、順番に話し合う。(4分)

*個人の場合は、①のみ行う。

memo

[ワーク2] 「5領域」に重ねてみよう

目的：子どもの姿から読み取ったことを、5領域に重ねてみることで、
子どもの姿をとらえる視点をひろげていく。

準備：グループになり、進行役を1人決める。
2cm幅の付箋、1人10枚程度を用意する。
A3用紙に印刷したワークシートを1枚用意する。
(A3用紙に印刷できない場合は、大きい紙に書くなど、工夫する。)

memo

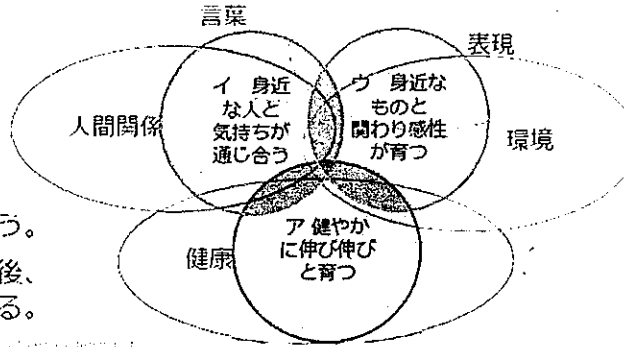
ワーク時間	
グループの場合	10分
個人の場合	8分

進め方

- ①ワーク1で書いた付箋を、ワークシートの5領域に重ねて貼ってみる。
- ②新たに思いついたことは、書き足して貼る。
- ③出そろったら、俯瞰して気付いたことをみんなで話し合う。

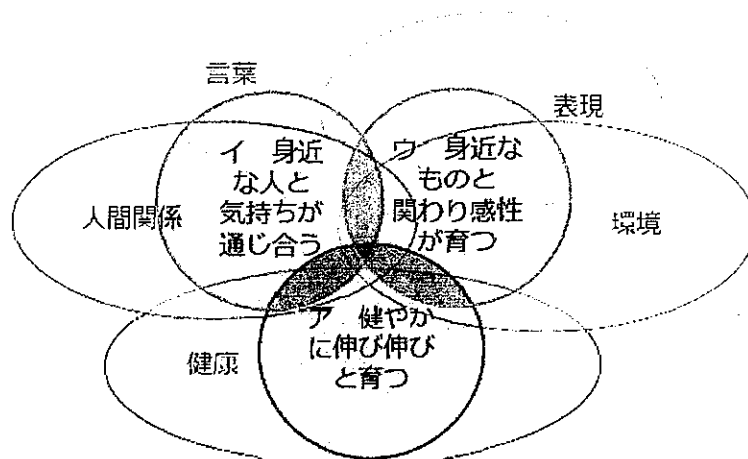
ポイント

一人ひとりの考えを尊重し合う。
 進行役は、全員の参加者が話せるように配慮する。
 合っているかどうかにとらわれず、想像力を膨らませて、自由に話し合う。
 *個人で行う場合は、①②を行った後、気づいたことについてまとめてみる。



memo

3視点・5領域
ワークシート



memo

[ワーク] 話しながら振り返ろう

ワーク時間	
グループの場合	13分
個人の場合	10分

目的：子どもの姿を語り合うことで、様々なことを思い出し、記録を書けるようにする。

準備：2人組になる。（奇数の場合は、3人）
2cm幅の付箋、1人10枚程度を用意する。

進め方

- ①散歩の様子を思い出して、付箋に書き出す。（1つにつき1枚）（3分）
- ②1人目の話し手が、付箋を基に話す。（1人5分）
聞き手は、あいづちや質問をしながら聞く。

[質問のヒント] 遊びの状況、場、時、モノ、人間関係、 子どもの気づき、クラス全体の様子

- ③質問をされたことをヒントに、さらに書き出す。
 - ④話し手を交替する。
- *個人で行う場合は、付箋に書き出したものを基に、文章に書き表してみる。

memo

[ワーク] 子どもの姿からつながる 計画を立ててみよう

目的：「計画を立てるポイント」を押さえながら、
次につながる計画を立てられるように、語り合う。

ワーク時間	
グループの場合	10分
個人の場合	8分

準備：グループになり、進行役を1人決める。

進め方①グループで、年齢を設定する。

- ②「子どもの興味関心」について話し合う。
- ③ 3視点、5領域をふまえて、どのような楽しみ方ができるか話し合う。
- ④実現するために、どのような環境（モノ、人、こと）を活用するか考える。
- ⑤意見をまとめ、発表し合う。

*個人で行う場合は、考えたことを書き表してみる。

memo